



えんどう ひろし
遠藤 浩 議員

オンライン教育

充実に向けた対応は

教育長／タブレット、AI教材導入

遠藤

コロナ禍により、子どもの教育の多くが家庭に委ねられる結果となり、自宅での学習は家庭環境に大きく依存したため、教育格差が拡大した可能性があると考えますが、子どもたちの学習環境格差の是正や、個別指導の充実、質の高いオンライン教材の充実への対応を伺います。

教育長

小・中学校に、1人1台タブレット端末の配備並びに通信ネットワーク環境の再構築に着手し、オンライン学習体制を整えました。学校の臨時休業の際、インターネット環境が無い家庭においては、モバイル用ルーターを無料で貸し出して、学習環境に格差が生じない対応を行っています。さらに、4月からはAI型教材を導入したことで、子どもと先生の教育環境は、充実した個別指導となり、一人一人の習熟度別に応じたICTを活用した指導体制となっています。

コロナワクチン

接種の進捗状況は

町長／高齢者約半数が1回目接種

遠藤

①65歳以上の方々の接種が開始され、今後は基礎疾患を有する方や65歳未満の方々の接種も始まりますが、65歳以上の方と医療従事者等のワクチン接種状況を伺います。
②ワクチン接種予約をコールセンターおよび電子予約システムで行っていますが、電話が繋がらず非常に苦労したとの話を多く聞いています。
接種予約で大きなトラブルや問題はなかったのが、予約方法を改善する必要はあるか伺います。
③2回目の接種前に感染した事例が出ており、2回目の接種まで予防対策を継続するよう注意喚起する必要がありますが、対応を検討するかどうか伺います。

町長

①高齢者のワクチン接種は、6月9日現在、1回目接種済みの方が7000人、摂取率が43・0%、2回目接種済みの方が15・4%です。
高野病院では、入院者72人のうち12人の方が1回目の接種を受け、医療従事者100人は2回目接種が完了しています。
馬場医院では、医療従事者12人の1回目接種が行われ、6月に2回目接種完了予定です。花ぶさ苑では、6月12日に入所者28人の1回目、7月3日に2回目の接種を行い、施設職員は29人のうち19人が2回目接種を完了しており、残りの10人の職員は、6月に2回目接種完了予定です。
②ワクチン接種予約開始初日と2日目に予約者が集中し、コールセンターへの電話が繋がりにくくなり、電子予約システムへの接続に時間がかかる事象が発生しましたが、3日目以降は発生していません。
今後、一般の方を対象とした予約は、電子申請が大部分であることが予測されるため、予約方法を変更する必要はないと判断しています。
③国、県と情報を共有、接種状況等を精査し、感染予防対策等の必要な情報を広報ひろの等により発信し、町民の理解と協力を頂き、迅速且つ確実なワクチン接種に取り組んでいきます。

町長選挙

立候補の意思は

町長／熟慮してしかるべき時期に

門馬

第2期復興・創生期間となる新たな10年に向けて、生活再建を念頭した安心・安全な共生のまちづくりを着実に進めています。町長の任期が目前に迫っていますが、今日までの町政の方針を継続し、再度立候補の意志があるか伺います。

町長

第2期復興・創生期間となる新たな10年を迎え、町の復興・創生を新たに展望し着実に進展しています。しかし、復興・創生への道のりは、いまだ道半ばであり、町の復興・創生を成し遂げ、町民主体のまちづくりを進めるため、町長選への立候補については、町民の皆さまのご意見を伺い、熟慮して、しかるべき時期に町民の皆さまへ意思表示をしたいと考えています。

高齢者福祉

機能強化への取り組みは

町長／関係機関と連携し強化

門馬

①広野町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画は昨年度が最終年度でしたが、利用者本位のサービスを提供するために社会福祉協議会の機能強化について、どのような取り組みをされたか伺います。
②デイサービスセンター「花ぶさ苑」の機能強化については、どのような取り組みをされたか伺います。
③地域包括センターは、地域における介護・福祉・保健・医療などの相談窓口であり、地域包括ケアシステムの核となる機関です。誰もが住み慣れた地域で最後までいきいきと助け合って暮らす仕組みづくりについて話し合う協議体の立ち上げを検討しています。

町長

ことになっていますが、どのような状況になっているか伺います。
④広野町特別養護老人ホーム花ぶさ苑は、本年4月より公設民営により事業継承していますが、花ぶさ苑の現状と今後の展望について伺います。



もんま まりえ 議員



広野町特別養護老人ホーム花ぶさ苑

①全職員を対象とした月例ミーティング、サービス提供責任者等による事業状況報告会、毎月の介護事業運営会議、相互の情報共有を行い、利用者の処遇改善やサービスの質の向上に向け取り組みを提供を行っています。
②社会福祉協議会と広桜荘が一体となって、令和2年度に特殊浴槽

および入浴リフトを更
新、令和3年度にマッ
サージチェア7台を更
新し、今後は広桜荘浴
室壁面等劣化度調査を
実施し、適切な環境整
備に取り組んでいきま
す。
③「広野町地域包括支
援センター」運営協議
会」を設置し、地域に
おける介護保険以外の
サービスとの連携の形
成、助け合う仕組み作
りについて協議を行い、
地域包括ケアシステム
の構築を図ります。
④定員40床に28人が入
所し、職員29人体制で
施設運営に取り組んで
います。
震災以前から今日ま
での取り組みを引き続
ぎ、圏域における二
数の状況を精査し、県
との情報共有、協議を
行い、指定管理者制度
における適切な収支パ
ランスによる健全な運
営管理に取り組んでい
きます。